

マーケットの動き（2026年8月3日～8月7日）

先週の米国株式市場は、前週末比で上昇しました。

中東情勢を巡る懸念の後退を背景に原油価格が下落し、インフレへの警戒感が和らぎました。また、好調な企業決算やAI関連需要への期待から、ハイテク株や半導体関連株を中心に買いが集まりました。週末の雇用統計を受けて利上げ観測が後退したことも支援材料となり、S&P500種株価指数やNYダウは過去最高値を更新しました。

欧州株式市場は、前週末比で上昇しました。

投資環境見通し（2026年8月）

外国株式相場は、米国、欧州ともに底堅く推移

企業業績については、引き続きAI関連企業を中心に全般的に高い増益率を維持するとみています。米国株式相場は、FRB（米国連邦準備制度理事会）による利上げ観測やAI関連企業の競争激化に対する懸念が重しになるとみられますが、景気が徐々に減速しながらも比較的底堅く推移するとみられる中、企業業績が堅調なこともあり、底堅く推移するとみています。欧州株式相場は、引き続きECB（欧州中央銀行）による追加の利上げ観測が重しとみられますが、域内諸国の財政拡張政策に支えられ、底堅く推移するとみています。

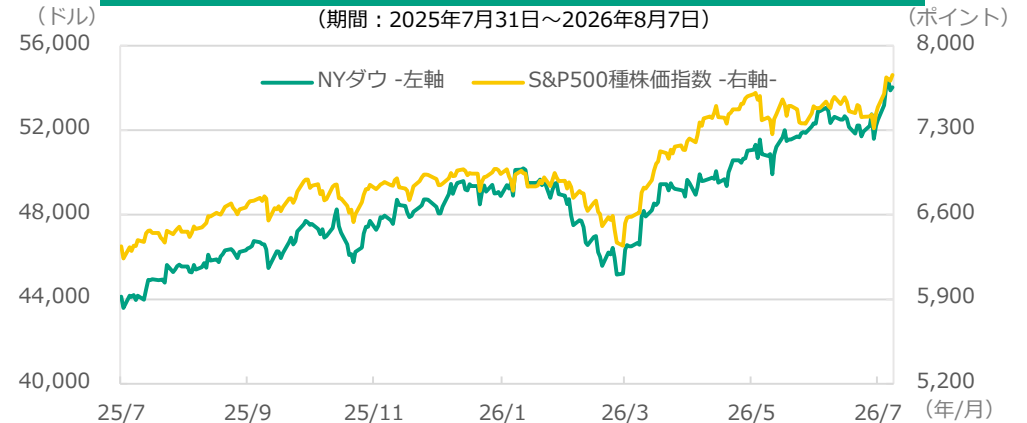
	8月7日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	7,757.64	3.58%	3.38%	11.91%	22.36%
NYダウ	54,036.93	2.96%	2.10%	7.82%	22.90%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

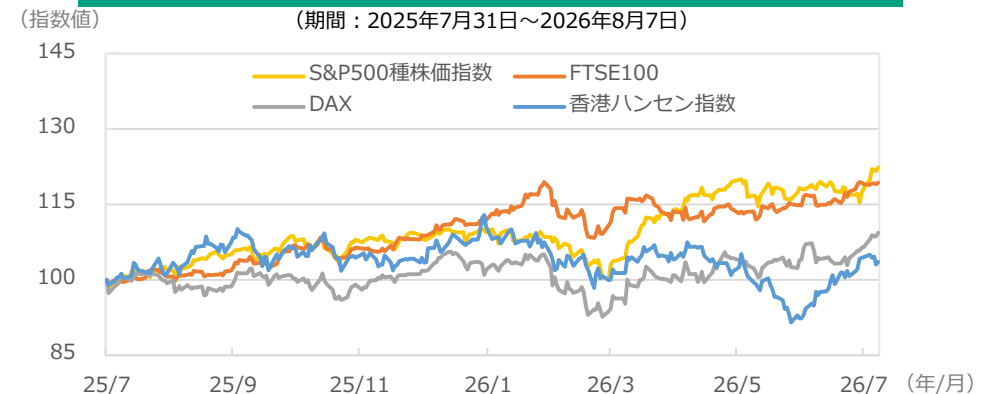
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202608_outlook.pdf

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2025年7月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>